

(様式2)

令和 **4** 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100432		
法人名	社会福祉法人 博愛仁志会		
事業所名	グループホームたきや		
所在地	新潟市秋葉区滝谷町4-19		
自己評価作成日	令和4年12月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JizyosyoCd=1590100432-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年1月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【たきや職員理念】【共に寄り添い、心地よい生活をしていただけるよう努めます】
○職員が決めた理念をもとにご利用者様一人一人に合わせた支援をしています。毎月職員会議を開催し、ご利用者様をしています。についてどのように支援していくか話し合いをしています。会議で出した案をもとにご利用者様の状態を見ながら生活を見直しをし、ご利用者様やご家族様と相談しながらその時必要な支援をしています。ご利用者様に希望のメニューを聞き手作り食事やおやつなども一緒に作っています。誕生日には、手作りケーキを作りホームにいる全員でお祝っています。一年を通して季節を感じていただくためにご利用者様のお出かけ希望を取り外出予定を年間で計画しています。季節に合わせた行事なども企画し、ご利用者様と職員と一緒に季節を感じ、楽しい思いで作りができるように過ごしています。また、室内についても季節を感じていただけるようにその時期に合わせた作品や飾りつけなどを行っています。
○地域とのつながりを大切にし、地域の人と挨拶やコミュニケーションを取ることで交流をしています。今まで暮らしてきた馴染みの関係が続け地域の人とも関わりが取れるよう支援しています。町内の敬老会の参加やホームの夏祭りなどで地域の人に参加していただき少しずつ交流する機会を増やしています。年数回たきやだよりを作成しホームの日々の様子や行事内容をお知らせしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○家族と共に地域の中で安心した暮らし作り
グループホームたきやは、開設13年目を迎えている。法人系列の小規模多機能型事業所と併設し県道に面した事業所ではあるが、空間をうまく活用した季節の野菜栽培や草むしりなど、利用者のできる事を職員と楽しみながら続けている。現在、事業所理念の振り返りを行いながら、次に目指すべき新しい理念を模索中であり「まずはやってみよう」「何かしたいね」と意欲的に取り組んでいる。利用者の生活に合わせて職員の業務内容の変更や利用者一人ひとりが持っている力を引き出せるよう支援に努めている。また、コロナ禍以前に実施していた家族参加の行事後のアンケートや、家族と6ヶ月毎の介護計画の見直し、窓越しの面会等を継続実施している。利用者の安心した暮らしが展開できるように共に支える体制作りが展開している。今後も地域の中で生き生きと暮らす生活が期待される。

○利用者との会話を大切に充実した共同生活

利用者の思いや意向を日常生活の会話の中から引き出すことを大切にしており、できる限り本人の希望を実現できるように職員で話し合いを行い検討している。フロアで利用者が一人になった時には、すぐに職員が傍に行きコミュニケーションを取るようにし、利用者を一人にしないように心掛けている。食事の時間になると利用者には三角巾と割烹着を着用してもらい職員と一緒に食器の準備や盛り付け、食器洗いなど利用者のできる範囲で、個々の能力を引き出しており、生き生きと過ごすことができている。また、定期的に昼食会も行われており、夏には流しそうめんなど季節に合わせた昼食会が計画されている。昼食会もおやつ作りも利用者と一緒に献立から考えている。手作りのおやつではホットケーキやたこ焼きなどを利用者と一緒に作り食事を楽しむ工夫が行われている。